

豆腐容器をアップサイクル

実証実験を開始

・おとうふ工房いしかわ

大豆油糧日報から

おとうふ工房いしかわは2月1～28日まで、自社の使用済み豆腐容器の回収を行い、回収したプラスチックをアップサイクルするための実証実験を行う。

実証実験では、高浜市内複数の小学校の学校給食で使用した豆腐容器と、消費者が家庭内で事前に洗浄・乾燥を行った豆腐容器を同

社直営店の大まめ蔵(高浜市)、コープあいち日進店で回収する。使用済み豆腐容器のリサイクルに向けた技術検証を行うと同時に、消費者との最適なコミュニケーション手法や効率的な回収スキームを検証するといふ。

実証実験に踏み切った経緯について、「豆腐という身近な食品を扱う私たちが、だからこそ環境問題について

取り組むことにより、多くの人に環境問題を考えるきっかけの場づくりを行う」(同社)としている。

環境省が提唱するプラスチック資

源循環戦略では、プラスチック資源について、2025年までにリユース・リサイクルが可能な材質構成に置き換えること、また30年までに容器包装の6割をリユース・リサイクルすること、プラスチック資源の再生利用を倍増することなど

の中間目標地点が策定されており、その背景を受けたもの。

なお同プロジェクトは、愛知県環境局資源循環推進課の「愛知県循環型社会形成推進事業費補助金」の循環ビジネス事業化検討事業の採択を得て進めている。

